

# 小学生国内交流事業

8月3日(木) 庄内町と南三陸町の小中学生約70名が、立谷沢川流域で交流事業が行われました。猛暑が続き熱中症の危険が高かったため、予定より短い1泊2日の交流体験でした。

当出張所では、2日目の午後に[大中島自然ふれあい館 森森]にて、防災教育を目的にクイズ形式で災害時の避難や砂防の役割を説明しました。また、今も重要な役目をはたす[六淵砂防堰堤(登録有形文化財)]は、当時の少女たちが大きな石を運んで作ったということで、[もっこ担ぎ]を体験しました。



もっこ担ぎやりたい人が続出



最後は  
玉川第6砂防堰堤へ！

なぜこの堰堤には  
龍神が描かれている  
のでしょうか？



突然ですがクイズです！

- Q 警戒レベル5になったら避難を始める？
- Q 浸水時の避難は長靴を履いていく？
- Q 土砂災害に前兆は無い？
- Q 砂防堰堤のはたらきは？



また  
来てね！

